

2026 年 8 月 20 日

東京都、カナモトと Honda Mobile Power Pack e: を活用した 交換式バッテリー共用化の実証事業を開始 ～将来の建設現場における新たなエネルギー利用モデルの確立を目指す～

- 交換式バッテリー「Honda Mobile Power Pack e: (モバイルパワーパック)」の活用領域拡大に向けて、建設現場の電動化および交換式バッテリーの共用化に向けた実証事業を、東京都、カナモトと本日開始
- 日本一の高さとなる Torch Tower の建設現場において、高圧洗浄機や投光器、EV バイクなど複数の電動機器間でモバイルパワーパックを共用・運用し、建設現場での有効性を検証
- モバイルパワーパックの活用を通して、建設業界をはじめ多様な分野でカーボンニュートラル実現への貢献を目指す

Honda は、東京都および株式会社カナモト（以下、カナモト）と、交換式バッテリー「Honda Mobile Power Pack e: モバイルパワーパック イー、（以下 モバイルパワーパック）」を活用した建設現場の電動化、および複数の電動機器間での交換式バッテリー共用化の実用性を検証する実証事業を、本日開始しました。

本実証は、実証場所の提供者である三菱地所株式会社、株式会社三菱地所設計および清水建設株式会社の協力のもと、東京都千代田区大手町において建設中の「Torch Tower（トーチタワー）※1」で実施します。

※1 東京駅日本橋口前「TOKYO TORCH（トウキョウトーチ）」街区「Torch Tower（トーチタワー）」

施行者：三菱地所株式会社、設計監理：株式会社三菱地所設計、施工：清水建設株式会社



交換式バッテリー共用化のイメージ※2



実証現場で使用するモバイルパワーパック・電動建機

Honda は、2050 年に全ての製品と企業活動を通じたカーボンニュートラルの実現を目指しています。この実現に向けた取り組みの一つとして、モバイルパワーパックを活用した電動モビリティの普及拡大を図るほか、パワープロダクツにおける電動製品のラインアップ拡充に取り組んでいます。

また、東京都は、「ゼロエミッション東京」の実現に向け、2035 年までに都内で新車販売される二輪車を 100%非ガソリン化することを目指し、EV バイクへの購入支援などを行っています。

このように、電動化への取り組みが加速する中、今回の実証事業の対象となる建設業界においては、脱炭素化や静音化の観点から電動建機の導入が期待される一方、現在はガソリンエンジンを使用した建設機械が主流となっています。その背景の一つに、電動建機のメーカーや機器ごとにバッテリーや充電器の規格が異なることによる管理の煩雑化の課題があります。特に都市部の建設現場では、限られた作業空間で複数の機器を効率的に運用する仕組みづくりが求められています。

こうした背景を踏まえ、東京都、Honda、建設機械のレンタル事業を展開するカナモトは、複数の電動製品で共用可能な交換式バッテリーとしてモバイルパワーパックを活用し、電動建機・機器の導入、バッテリー共用環境の構築を通じた建設現場の電動化に向けて、その実用性を検証する実証事業を実施します。

今回の実証場所は、東京駅日本橋口前で再開発を行っている「TOKYO TORCH(トウキョウトーチ)」街区の Torch Tower の建設現場です。Torch Tower は、2028 年の竣工後には日本一の高さとなる建物であり、その建設現場は、多様な建設機械や機器が運用される環境を備え、交換式バッテリー活用の検証において最適なフィールドです。

本実証では、高圧洗浄機・投光器などの建設機材や EV バイクなど、さまざまな電動機器間でバッテリーを共用し、充電・交換・持ち回りを含む実運用での有効性や課題の検証を行います。あわせて、交換式バッテリーを活用した電動建機・機器の特長である、排出ガスゼロ化、騒音・排熱の低減、充電待機時間の短縮などの効果検証を行うほか、モバイルパワーパックから各使用機器の稼働状況や消費電力、環境負荷低減効果などのデータを収集します。これらの検証を通じて、建設現場での交換式バッテリーの運用ノウハウの蓄積や搭載機器の商品改良につなげるとともに、脱炭素化と生産性向上の両立を図る新たなエネルギー利用モデルの確立を目指します。

Honda は、モバイルパワーパックの活用に加え、エンジンと電動機器・電動パワーユニットそれぞれの長を生かし、お客様の使用環境や用途に応じたエネルギーソリューションを提供しています。今後も、建設業界をはじめとするさまざまな分野で、お客様のニーズにお応えする製品・サービスの提供を通じてカーボンニュートラルの実現に貢献していきます。

※2 建設現場でのバッテリー共用化のイメージであり、本実証で使用する機器と一部異なるものがあります

【実証事業概要】

■実証名称 令和 8 年度規格型バッテリー活用機械導入促進事業

■実施期間 2026 年 8 月～2027 年 3 月

■実施場所 Torch Tower（東京都千代田区大手町二丁目）

■実証内容

- ・建設現場における交換式バッテリーの充電・交換・持ち回りを含めた実運用上の有効性や課題の検証
- ・交換式バッテリーを活用した電動建機・機器の特長である、排出ガスのゼロ化、騒音・排熱の低減や、充電待機時間削減などの効果検証
- ・電動建機の導入による CO₂排出量削減、業務効率化、省人化および作業負担軽減効果の検証
- ・バッテリー運用や機器稼働に関する各種データの収集

■実証に使用する主な機器

電動二輪車

-GYRO CANOPY e: 2 台

パワープロダクト

-Honda Mobile Power Pack e: 74 個

-着脱バッテリー式ポータブル電源「Honda Power Pod e:」 4 台

その他 電動パワーユニット「eGX」シリーズ・Honda Mobile Power Pack e:を搭載した他社製品、Honda Mobile Power Pack e:向け充電器

- 自走式台車 CP200 1 台（株式会社 DONKEY 社）
- 自走式台車 CuGoMEGA M2 MPP 1 台（株式会社 CuboRex 社）
- 高圧洗浄機 SLR-2006MPP 1 台（スーパー工業株式会社）
- 投光機 LB20LM-H 1 台（株式会社ライトボーイ社）
- 投光機 PL-241SLB 1 台（デンヨー株式会社）
- 投光器 LED フィールドライト F1 1 台（日星工業株式会社）
- 投光器 WL601SLBAS-3 1 台（和光機械工業株式会社）
- 充電器 4 個用小型バッテリー交換機 7 台（株式会社 Gachaco）
- 充電器 9 個用小型バッテリー交換機 2 台（日東工業株式会社）

■実証事業の体制

